

実業団テニス連盟の創立経緯

長野県で育ったジュニア選手が、社会人となっても長野県の選手として活躍できる環境作り及び国体をはじめとするチームテニスの育成を目的として、実業団テニス大会に出場していたチームが中心となり連盟が発足（県協会の委員会組織として提案したが否決）

平成元年 6月 加盟チーム数 15 団体で発足

平成 2年 3月 長野県テニス協会常任理事会において、実業団委員会設置について提案したが、反対多数で否決（現状の体制で活動することを指示される）

平成 3年 3月 長野県テニス協会常任理事会において、実業団委員会設置について提案、否決（現状の体制で活動することを指示される）

提案内容

財団法人日本テニス協会、北信越テニス協会の組織にならい、実業団委員会設置を長野県テニス協会に要望

土屋副会長、理事長等の賛成は得られたが白沢副会長等の意向で否決

平成 3年 4月 実業団テニス連盟としての充実した組織作りに着手
長野県テニス協会へは傘下団体の立場で参加

平成 4年 7月 実業団のしおり第 1号を作成

平成 5年 2月 当会会長 新村 均 北信越テニス協会実業団委員長（全国実業団委員）となる

平成 5年 7月 実業団のしおり第 2号を作成